

学会への入会をお待ちしています

当学会は、研究者はもとより、コンサルタント、行政担当者、市民、NGO、学生等どなたでも入会できます。

学生会員には会費の特典や単年度入会方式をとっています。ぜひ学びの場として当学会を活用してください。

入会を希望される方は、学会ホームページの入会手続きよりご申請ください。

— 会員種別と会費 —

- ①正会員（1万円）個人
シニア会員（6千円）個人
 - ②公益会員（3万円／口）官公庁
 - ③賛助会員（5万円／口）事業を賛助する法人
 - ④名誉会員（なし）顕著な貢献により理事会が推薦した者
 - ⑤学生会員（2千円）大学院、大学、高等専門学校など
- ※会員資格（投稿や学会発表等）の詳細はホームページをご参照下さい。

学会出版物のご案内

- 『環境アセスメント学会誌』（年2回発行）
- 『環境アセスメント学入門』（2019.2 恒星社厚生閣刊）
- 『環境アセスメント学の基礎』（2013.2 恒星社厚生閣刊）

【小冊子シリーズ】

- 「いいアセスは地域も社会も良くする」（2023.8）
 - 「配慮書を活用しよう」（2021.9）
 - 「アセスに関わって地域を良くしよう！」（2020.3）
- ほか

環境アセスメント学会のご案内



事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

パレスサイドビル7F株式会社毎日学術フォーラム内

E-mail: maf-jsia@mynavi.jp

T E L: 03-6267-4550

お電話の際は「環境アセスメント学会事務局」宛と伝えてください。窓口時間は平日午前9時～午後5時。



学会ホームページ

学会設立の趣旨

人間の経済・社会活動はかつてないほど巨大化し、これに伴う環境への影響によって、私たちの生活や社会の基盤が損なわれる恐れがあります。私たちは、その活動に伴う物理的、自然的、社会的影響を事前に把握することによって、できる限り環境影響の少ない、より望ましい活動を選択する努力が求められています。

このための仕組みとして、わが国では1997年（平成9年）に環境影響評価法が制定されました。また、各地方公共団体における制度化も進められ、すべての都道府県・政令指定都市において環境アセスメントに関する条例が制定されています。

環境アセスメントのさらなる発展のためには、①社会科学と自然科学とを問わず学際的な交流を図り、その研究のレベルを向上させるための場が備えられること、②行政、企業、市民、NGOといった環境アセスメントに関する幅広い関係者が参加し、現実的な課題に基づく議論を活発に行うこと、③国際影響評価学会をはじめとする環境アセスメント分野での国際的な組織との十分な連携が図られるよう、これらとの国際交流の拠点となる場を設けることなどが重要です。

また、日本における事例が蓄積され、関連する実務を行う者が増えている現在、多様な分野の関係者が、交流を深め、学術・技術の水準を向上させることも求められています。

以上のような時代の要請に応え、持続可能な社会の構築に寄与するため、環境アセスメント学会を設立しました（2002年4月20日）。関係するみなさまのご入会をお待ちしております。

学会の活動

当学会は環境アセスメントについての国内唯一の学術団体です。年間を通じて様々な活動に取り組んでおり、研究者、コンサルタント、事業者、行政担当者、市民、NGOのどなたでも参加できる開かれた学術団体です。

現在（2025年11月）、403名（内、正会員321名）が所属し、学会ホームページの運営、セミナーの開催等により活発な情報発信と意見交換を行っています。

— 主な活動 —

- ◇年次大会（研究発表会、毎年開催）
- ◇総会（毎年開催、役員改選は隔年）
- ◇委員会活動
 - ・学術委員会・編集委員会・国際交流委員会
 - ・企画委員会・情報委員会・行事委員会
- ◇シンポジウム・セミナー（適宜開催）
- ◇研究会（制度研究、生態系研究、若手研究会、環境社会配慮研究会など）
- ◇環境影響評価審査関係者の交流支援
- ◇国際交流活動
 - IAIA（国際影響評価学会）やAIC（アジアアセスメント会議）など他国の学会との国際交流など
- ◇サロン会、小冊子WG、環境アセスメント検定WGなど
- ◇出版物：学会誌、書籍出版、研究発表要旨集、解説小冊子シリーズなどのパンフレット（WEBから入手可能）